

# 「教頭先生は何の先生？」

教頭 土田 利康

施設・設備の点検を兼ねて、子どもの様子を見ながら毎日校舎を回っています。ある日、1年生が「教頭先生は何の先生ですか」と聞いてきました。「教頭先生は教務室の先生なんだよ」と答えましたが、ふと、「この答えは正解なのだろうか」と考えてしまいました。

授業がしたくて、子どもと触れ合いたくて教師になりました。日常の大半を、書類の作成や点検、渉外、出張などに時間を費やす今は、教師業とは思えないことがあります。

しかし、魅力があります。先日、職員に次のような話をしました。

身の回りには、数え切れない「いのち」があります。5月は、その「いのち」の息吹が、あちらこちらで感じられるよい季節です。この教材を使って、子どもの様々な感覚を育ててください。

さて、今年度の教育活動の重点は「いのち」の教育です。まずは、先生方がこのことを再確認してください。(中略)もちろん子どもを大いに活躍させてください。鉢植え一つからでも「いのち」の教育はできます。先生方がその意識をもっていれば、必ず子どもは変わります。

枯れた花が教室にあったとします。子どもの前でゴミ箱へ入れますか。枯れた花の処分の仕方を教える手段とするなら、決して悪いことではありません。しかし、工夫もできますね。低学年なら、「お花はきれいな色で皆さんの心を落ち着かせてきたから、ありがとうと言って、自然に返してあげましょう」と校庭の片隅に埋めると、どんな子どもが育つのでしょうか。

「いのち」の教育の視点は、私は「気付く」「関わる」「畏敬」だと考えます。「こんなところにもいのちはあるのか」「わたしたちがお世話をしなきゃ」「いのちってすごいね」などと、子どもが思うようにちょっとした仕掛けがあればよいのです。

難しく考える必要はありません。国語の説明文や理科の観察でも実施可能です。日々忙しいのは十分承知していますが、今年度の重点には、ちょっと時間とアイデアを使ってください。

教頭は、校長の理想とする学校づくりを具体化し、職員に伝えることができます。自分の思いが各教室で広がっていくのです。とても素晴らしいことです。

「教頭先生は、二葉小みんなの先生」という答えは、1年生には難しいので心の中にしまい、今日も校舎を回りに行きます。



2年生には、自分の野菜の生長とともに、自分の成長にも目を向けて欲しいものです。

# 1 学期の予定



日にち	行事等
6/ 2(火)	5年生給食後下校
6/ 3(水)	5年生自然教室(乙)～4日
6/ 5(金)	授業5限まで(職員会議のため)
6/ 8(月)	登校指導, 読書週間(～12日) 縦割り班体力テスト
6/ 9(火)	むし歯予防教室 プール清掃(高学年)
6/10(水)	授業5限まで(教育委員会訪問のため) <b>家庭生活パワーアップ週間(～16日)</b>
6/12(金)	交通安全教室
6/15(月)	個別懇談会(給食後下校 16日を除く19日まで)
6/16(火)	授業5限まで(市内小学校研修会)
6/22(月)	プール授業開始(天候を見て順次)
6/24(水)	6年生給食後下校
6/25(木)	佐渡修学旅行(6学年)～26日 1学年PTA行事(給食試食会, 栄養指導)
6/30(金)	学校カウンセリング(14:45～16:45)
7/ 1(水)	縦割り班集会(3, 4限)
7/ 8(水)	<b>学習参観(5限 14:05～), 懇談会</b>
7/10(金)	教育鑑賞事業(午前 文化会館1～3学年)
7/13(月)	登校指導
7/24(金)	給食最終日(授業4限まで)
7/27(月)	授業3限まで 地域子ども会
7/28(火)	1学期終業式

これまでも行ってきました、「家庭学習強調週間」と「健康貯金通帳」を組み合わせ、今年度は実施します。知・徳・体、それぞれの向上を目指して、取り組んでください。初めての試みですので、開始前には関連の配付物によく目を通していただけたいと思います。子どもたちがめあてに向かってがんばる環境をつくっていただきたいと思います。



二葉小学校では、家庭や地域と連携・融合した教育活動を推し進めています。学校を核として「地域の子どもは、地域が育てる」ために、子どもを取り巻く大人が、それぞれの立場で積極的に関わっていく意識と組織をつくっていききたいと思います。

まずは、子どもの様子を直に見ていただきたいと思います。どなたでも参観できますので、お気軽にお越しください。



## 手作りの花壇の完成



学校へのアプローチの両脇に、約30mにも渡る花壇が誕生しました。おやじの会の皆さんが、荒地を耕し、石を手作業で取り出しながら、木枠をはめました。その後二葉サークルの皆さんが、400株以上の花の苗を、色合いのバランスを考え植えていきました。今、子どもたちを明るく迎え、楽しい1日の始まりを後押ししています。ありがとうございました。